

の、見當違ひのデマを飛し、自己利益をより多く得る爲には國家を忘れ、既成政黨と、ぐるになつて労働階級を搾つて來て居るのである。

労働組合法は一体、いつになつたら出來るのか？

其他の労働者保護法亦然り。彼等資本家は常に手段を選ばず、労働組合の發達を妨害する結果、いたづらに労働者の矯激化を促進し、無秩序混亂の狀態に落ち入りしめ、折角の協力精神は影を、ひそめて、残るものは「卑屈」と「憤怒」と「怨恨」とを増長せしめ、思想悪化の種は彼等悪資本家が撒いて居ると申して過言でない。

今や國歩多難の時に際し、舉國一致して之が打開に當らねばならない時に、惡辣なる搾取と、無謀なる闘争を最少ならしむるものは、健實なる労働組合の任務であらねばならぬ。

六ヶ年の苦闘と訓練を経たる支部員同志諸君は充分自重し以て來る十年度への躍進を希望する次第である！！

### 支部會議報告

昭和八、一〇、二一、第六回年次大會（第五週年）

場所	葛葉 西照寺
出席	組合員 全員
開會	清末道男
議長	白木清三
副議長	越智克己
書記	帆足 勇
資格	西原三郎
審査委員長	野本次郎
議事	矢野雪夫
豫算決算委員長	佐藤荒吉
規約	川野竹治
役員詮衡委員長	奈良利雄
宣言起草	清末道男

#### ◎祝詞

- 一 社會大衆黨中央執行委員 田原 春次
- 二 小倉製鋼労働組合 勝野 滿
- 三 日本海員組合門司支部長 飯島林次郎
- 四 日本港灣従業員組合門司支部 石見 源吉
- 五 社會大衆黨門司支部長 園本作太郎
- 六 九 聯合會 長 伊藤卯四郎

#### ◎祝電

- 一 全國農民組合福岡縣聯合會
- 二 日本港灣従業員組合下關支部
- 三 日本石炭礦夫組合
- 四 社會大衆黨田川支部
- 五 社會大衆黨本部
- 六 總同盟本部 會長 松岡 駒吉